



人文社会科学部公開講演会

ウランバートルを囲む都市問題 ：住まいの歴史文化的解釈を通じて

講師：滝口良 氏(モンゴル日本人材開発センター・JICA専門家)

日時：12月21日(火)16:20～ 人文103教室

主催：人文社会科学部国際交流委員会

共催：YU-COE(M)移民社会における多文化共生論

問い合わせ先：中村篤志 (人文社会科学部)

人文社会科学部公開講演会

ウランバートルを囲む都市問題:住まいの歴史文化的解釈を通じて

講師: 滝口良 氏(モンゴル日本人材開発センター・JICA専門家)

日時: 12月21日(火)16:20～ 人文103教室

急速な経済発展と人口増加により変貌を遂げる今日のウランバートル。かつてない規模の集住によりウランバートルは大気汚染・交通渋滞はじめ多くの都市問題に悩まされている。この問題に深く関わるのがウランバートルの周縁部に広がる「ゲル地区」と呼ばれる地区である。ウランバートルの都市問題に関わるゲル地区の住まいの歴史と文化を明らかにする。

講師略歴:

大阪外国語大学外国語学部卒業。北海道大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。日本大使館の専門調査員を経て、現職。専攻は文化人類学、現代モンゴル都市研究。

主な著書:

- ・ 滝口良編著『近現代モンゴルにおける都市化と伝統的居住の諸相——ウランバートル・ゲル地区にみる住まいの管理と実践』東北大学東北アジア研究センター、2018年。
- ・ イマニュエル・ウォーラーステイン(山下範久、滝口良訳)『知の不確実性:「史的社会科学」への誘い』藤原書店、2015年。
- ・ ジェyson・ムーア(山下範久、滝口良訳)『生命の網のなかの資本主義』東洋経済新報社、2021年。